

領域4 インフォーマルミーティング議事録

2015年年次大会(春の学会)

2015年3月22日 17:00~18:15 早稲田大学 BB会場

出席者 13名

加藤 岳生(領域代表)、岡本 徹(副代表)、都倉 康弘(次期副代表)

運営委員

(2014年4月-2015年3月)

大塚 朋廣(理研)、高瀬 恵子(NTT物性基礎研)、山本 夕可(北大)

(2014年10月-2015年9月)

岡 隆史(東大)、藤元 章(大工大)、佐藤 昌利(名大)

(2015年4月-2016年3月)

阪野 墨(東大物性研)、原田 幸弘(神戸大)、中島 峻(理研)

(2015年10月-2016年9月)

塩見 雄毅(東北大金材研)

【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会報告

・シンポジウム29(17)件, 招待講演7(7)件, 企画講演15(5)件, チュートリアル講演3(2)件 (カッコ内は物性分野)

領域4主催: シンポ1件, 招待講演1件, 企画講演1件

領域4で提案したものは、すべて承認された。

・概要集アクセス権について

研究室単位での購入ではなく、使う人すべてが買ってくださというお願いがあった。

・領域Web上での発表スライド公表について

公開している領域がある。

2. 若手奨励賞について

・領域4の受賞者： 阪野墨氏(東大物性研)、森本高裕氏(理研)

・若手奨励賞実施要項について

-http://www.jps.or.jp/activities/awards/wakate_youkou.html

-以下のように改訂になった

「過去に本賞受賞経歴がある者の再受賞は認めない。また、申請時に自薦による複数領域に応募は認めない。他薦により複数領域で候補者となった場合は候補者が一つの領域を選択するものとするが、本規定等により受賞候補辞退者が出た場合でも、それによる繰り上がり受賞はないものとする。」

-いつの時点で候補者が選択をするのか確認中

・領域4の若手奨励賞授賞規定について

• 4. 応募と審査の方法

(中略)なお、推薦者は同一の候補者を同じ年度に複数の領域に推薦すること、同一の領域に複数名の候補者を推薦することは出来ない。自薦の場合は同じ年度に複数の領域に応募することはできない。

- 下線の部分を削除したほうがいいのかもわからないが、あっても問題はない。
- 次年度の領域代表に考えてもらう？（改訂は理事会承認事項）

・若手奨励賞について

- 応募状況：理論4名、実験2名
- 受賞者： 阪野 墨 (東大物性研)、森本高裕 (理研)
- 領域4細則：「なお、審査委員と同じ所属、あるいは対象論文が共著の候補者が推薦された場合には、その審査委員は当該候補者の審査には加わらないものとする。」
- 来年以降、特に実験系の方の応募を促すべき。
推薦、審査は同じ所属の人にはできない。「同じ所属」とは、「同じ大学の同じ学科」と解釈すればいいか？

3. その他

【審議事項】

1. 次期領域代表、副代表の紹介があった。

次期代表： 岡本 徹氏、 次期副代表： 都倉 康弘氏

2. 新運営委員の紹介があり、次期運営委員は3名とも承認された。

新委員：阪野 墨氏 (東大物性研)、原田 幸弘氏 (神戸大・工)、中島 峻氏 (理研)

次期委員：福島 鉄也氏 (阪大基礎工)、守谷 頼氏 (東大生産研)、塩見 雄毅氏 (東北大金材研)

3. プログラム編成に関して

- 領域8, 9 とのトポロジカルセッションの合同開催について

今回の春の学会では、合同セッションはなし。ただし、今後、領域8との合同セッションが開催される可能性がある。前もって、領域8、領域9との相談が必要で、領域代表同士の相談を行った方がいいかもしれない。

- 領域7 とのグラフェンの合同開催について

領域4と領域7とで、講演数の多い方が主催とした。領域7主催の部屋が足りず、領域4が提供した。(前もって領域4で部屋を多めに取っておく)

- 今後の日程
 - シンポ・企画講演の公募締切：4/24
 - プログラム小委員会・領域委員会：5/21
 - インフォーマルミーティング申し込み：5/22
 - 講演申込締切：5/24
 - プログラム編集会議：6/5
 - 秋期大会 9/16～19(関西大学)
- ストレージサービスの利用について(SugarSync後継)
 - sugarsyncサービス
 - ファイル共有サービス、2年ほど前から利用
 - 「現在ご登録いただいているアカウントは、5月31日より順次解約およびデータ削除となります。」
 - 代替サービス
 - Dropbox sugarsyncとほぼ変わらず、無料もあり
 - サイボウズLive 掲示板・ファイルアップロードなどのサービス。少人数で議論するのに向く。無料。

→議論の結果、今後、Dropboxを使用することになった
→すでに、岡氏、加藤氏により対応済。

4. 領域略称名について

- 簡単な経緯
 - 2012年～2013年 領域略称名への移行
 - 2013年秋 変更なし（「半導体、メゾスコピック系・局在）
 - 2014年春
 - 「メゾスコピック系」を他のキーワードにしたほうがいい？
(e. g. 量子輸送)→保留・議論継続
 - 「局在」は削除する方向で検討→8月末に意見募集
 - 2014年秋
 - 「メゾスコピック系」という用語が古いという指摘
 - 2015年春
 - 2月に領域代表（加藤氏）が「半導体、メゾスコピック系・量子輸送」という案を運営委員に提示し、異論なし。
 - 3月に領域4メーリングリストに投稿（意見はなし）

→これまでの話し合い、上記の経緯を踏まえ、領域4の名称を「半導体、メゾスコピック系・量子輸送」とすることが了承された。

5. キーワードについて
 - 第一キーワードの「局在」は、しばらく様子を見ておく。
 - 第三キーワードの「アモルファス・微粒子・クラスター」は削除することが承認された。
 - キーワード変更は物理学会の要項の原稿修正の時期（8月～9月頃）。覚えていないと忘れるので注意。

6. 春の学会のシンポジウム・企画講演等について
 - ここ数年の状況
 - 会員からの提案はあまり多くない。
 - なるべく1個はシンポジウムをするように運営委員が頑張る
 - シンポジウム・企画講演を企画中：今度の秋の学会のシンポジウムについては、佐藤氏がトポロジカル絶縁体で企画中。
 - 企画講演・招待講演についても今から考えても急げば間に合う。
 - 締切：4月24日

7. 概要集電子化について
 - 購入状況、評判、使いやすさ、価格について意見交換をした。参加登録費用の中に含めた方がいいのでは、という意見も出された。

8. 領域4ホームページとメーリングリストの管理について
 - 藤元が対応。次期管理担当者は原田氏。

以上

【第一キーワード】																	
2012年春・2012年秋	講演者数	講演者数	変更点	2013年春	講演者数	変更点	2013年秋	講演者数	変更点	2014年春	講演者数	変更点	2014年秋	講演者数	変更点	2015年春	講演者数
1. 磁性半導体	8	5	4. 半導体スピン物性と統合	1. 半導体スピントロニクス	10		1. 半導体スピントロニクス	14		1. 半導体スピントロニクス	17		1. 半導体スピントロニクス	12		1. 半導体スピントロニクス	8
2. 量子井戸・超格子	9	8		2. 量子井戸・超格子	6		2. 量子井戸・超格子	6		2. 量子井戸・超格子	7		2. 量子井戸・超格子	8		2. 量子井戸・超格子	7
3. 量子ホール効果	19	23		3. 量子ホール効果	23		3. 量子ホール効果	14		3. 量子ホール効果	15		3. 量子ホール効果	10		3. 量子ホール効果	16
4. 半導体スピン物性	11	8															
5. 光応答	5	2		4. 光応答	4		4. 光応答	2		4. 光応答	1		4. 光応答	3		4. 光応答	4
6. 量子細線	7	8		5. 量子細線	7		5. 量子細線	5		5. 量子細線	6		5. 量子細線	6		5. 量子細線	7
7. 量子ドット	32	21		6. 量子ドット	29		6. 量子ドット	22		6. 量子ドット	16		6. 量子ドット	19		6. 量子ドット	29
8. 微小接合	6	10		7. 微小接合	4		7. 微小接合	5		7. 微小接合	2		7. 微小接合	7		7. 微小接合	7
9. グラフェン・ディラック電子系	23	23		8. グラフェン・ディラック電子系	24		8. グラフェン・ディラック電子系	25		8. グラフェン・ディラック電子系	30	関連の追加	8. グラフェン関連・ディラック電子系	25		8. グラフェン関連・ディラック電子系	39
10. トポロジカル絶縁体	37	52		9. トポロジカル絶縁体	43		9. トポロジカル絶縁体	55		9. トポロジカル絶縁体	42	超伝導体の追加	9. トポロジカル絶縁体・トポロジカル超伝導体	52		9. トポロジカル絶縁体・トポロジカル超伝導体	54
11. 領域横断テーマ	1	2		10. 領域横断テーマ	5		10. 領域横断テーマ	2		10. 領域横断テーマ	0		10. 領域横断テーマ	1	新設	10. 局在	3
																11. 領域横断テーマ	3
【第二キーワード】																	
12. 理論	68	68		11. 理論	72		11. 理論	78		11. 理論	64		11. 理論	67		12. 理論	77
13. 実験	87	83		12. 実験	82		12. 実験	70		12. 実験	66		12. 実験	74		13. 実験	95
【第三キーワード】																	
			1の統合により第3キーワードへ	13. 磁性半導体	3		13. 磁性半導体	4		13. 磁性半導体	3		13. 磁性半導体	3		14. 磁性半導体	1
14. 層状・低次元物質	14	3		14. 層状・低次元物質	10		14. 層状・低次元物質	11		14. 層状・低次元物質	13		14. 層状・低次元物質	13		15. 層状・低次元物質	20
15. アモルファス・微粒子・クラスター	0	0		15. アモルファス・微粒子・クラスター	0		15. アモルファス・微粒子・クラスター	0		15. アモルファス・微粒子・クラスター	1		15. アモルファス・微粒子・クラスター	0		16. アモルファス・微粒子・クラスター	0
16. 不純物・格子欠陥	7	3		16. 不純物・格子欠陥	4		16. 不純物・格子欠陥	5		16. 不純物・格子欠陥	3		16. 不純物・格子欠陥	4		17. 不純物・格子欠陥	6
17. 輸送現象	50	34		17. 輸送現象	45		17. 輸送現象	35		17. 輸送現象	40		17. 輸送現象	38		18. 輸送現象	52
18. 励起子	7	4		18. 励起子	1		18. 励起子	2		18. 励起子	4		18. 励起子	3		19. 励起子	6
19. バンド構造	20	14		19. バンド構造	18		19. バンド構造	12		19. バンド構造	13		19. バンド構造	10		20. バンド構造	13
20. 整数量子ホール効果	14	18		20. 整数量子ホール効果	21		20. 整数量子ホール効果	13		20. 整数量子ホール効果	16		20. 整数量子ホール効果	17		21. 整数量子ホール効果	17
21. 分数量子ホール効果	7	6		21. 分数量子ホール効果	4		21. 分数量子ホール効果	3		21. 分数量子ホール効果	3		21. 分数量子ホール効果	5		22. 分数量子ホール効果	5
22. 核スピン	5	9		22. 核スピン	9		22. 核スピン	0		22. 核スピン	4		22. 核スピン	6		23. 核スピン	5
23. アンダーソン局在	9	3		23. アンダーソン局在	6		23. アンダーソン局在	3		23. アンダーソン局在	0		23. アンダーソン局在	4	転移を追加	24. アンダーソン局在・転移	5
24. 拡散伝導・バリステック伝導	7	6		24. 拡散伝導・バリステック伝導	2		24. 拡散伝導・バリステック伝導	4		24. 拡散伝導・バリステック伝導	5		24. 拡散伝導・バリステック伝導	7		25. 拡散伝導・バリステック伝導	3
25. 微小接合・微小超伝導体	7	8		25. 微小接合・微小超伝導体	7		25. 微小接合・微小超伝導体	7		25. 微小接合・微小超伝導体	4		25. 微小接合・微小超伝導体	7		26. 微小接合・微小超伝導体	8
27. 量子ビット・量子情報	8	5		27. 量子ビット・量子情報	8		27. 量子ビット・量子情報	2		27. 量子ビット・量子情報	5		27. 量子ビット・量子情報	7		28. 量子ビット・量子情報	9
32. スピン流・スピン依存伝導	11	16		32. スピン流・スピン依存伝導	16		32. スピン流・スピン依存伝導	12		32. スピン流・スピン依存伝導	11		32. スピン流・スピン依存伝導	9		33. スピン流・スピン依存伝導	10
26. 電子相関	15	16		26. 電子相関	20		26. 電子相関	17		26. 電子相関	14		26. 電子相関	20		27. 電子相関	13
28. 表面伝導・エッジ伝導	7	13		28. 表面伝導・エッジ伝導	12		28. 表面伝導・エッジ伝導	11		28. 表面伝導・エッジ伝導	14		28. 表面伝導・エッジ伝導	12		29. 表面伝導・エッジ伝導	13
29. 超伝導	9	22		29. 超伝導	15		29. 超伝導	14		29. 超伝導	12		29. 超伝導	16		30. 超伝導	18
30. マヨラナ粒子	5	9		30. マヨラナ粒子	4		30. マヨラナ粒子	9		30. マヨラナ粒子	6		30. マヨラナ粒子	7		31. マヨラナ粒子	6
31. 新物質探索	2	2		31. 新物質探索	4	探索」を	31. 新物質	5		31. 新物質	4		31. 新物質	4		32. 新物質	2
33. ナノチューブ	1	0		34. ナノチューブ	2		34. ナノチューブ	1		34. ナノチューブ	1		34. ナノチューブ	4		35. ナノチューブ	2
34. ナノワイヤ	3	5		35. ナノワイヤ	4		35. ナノワイヤ	3		35. ナノワイヤ	2		35. ナノワイヤ	3		36. ナノワイヤ	2
35. NEMS・MEMS	0	0		36. NEMS・MEMS	2		36. NEMS・MEMS	1		36. NEMS・MEMS	2		36. NEMS・MEMS	0		37. NEMS・MEMS	2
			1の統合により新設	33. スピン軌道相互作用	21		33. スピン軌道相互作用	26		33. スピン軌道相互作用	24		33. スピン軌道相互作用	24		34. スピン軌道相互作用	21
			新設	37. その他	0		37. その他	2		37. その他	1		番号変更	41. その他		42. その他	2
													新設	37. シリセン		38. シリセン	3
													新設	38. 遷移金属ダイカルコゲナイド		39. 遷移金属ダイカルコゲナイド	7
													新設	39. 原子層物質		40. 原子層物質	8
													新設	40. ワイル半金属		41. ワイル半金属	8